

まのま

議会だより

令和3年2月4日発行

No. 64



11月臨時会・12月定例会の概要	2~3P
常任委員会審査の概要	4~5P
一般質問(6人)	6~11P
決算特別委員会審査の概要	12P
選挙公営制度についてほか	13P
議会活動、議長の動静、編集後記	14P

筆に集中!

(1月8日撮影: 鶴田小学校書初め)

令和2年度各会計補正予算額

11月臨時会
12月定例会

会 計 名	補正額	補正後の予算総額
一般会計 (10号、11号)	2億3,941万円	175億2,960万円
特別会計 後期高齢者医療	9万円	3億7,039万円
特別会計 介護保険事業	△18万円	37億884万
上水道事業会計	△19万円	4億1,426万円

※金額は千円単位を四捨五入

11月臨時会

11月30日に臨時会を開き、条例改正2件、補正予算2件や契約の締結3件等審議し、すべての議案を可決しました。

12月定例会

第4回(12月)定例会は、12月7日から12月24日までの会期で行われ、条例制定2件、条例改正2件及び各会計の補正予算、指定管理者の指定について審議し、提案されたすべての議案を可決しました。

新型コロナウイルス感染症関連補正予算

事業者支援等 (町の緊急経済対策等)

57万円

地方交通対策事業費

乗合タクシー及びコミュニティバスの料金を令和3年3月まで無料にするための経費。

町の緊急経済対策等事業終了に伴う減額

△975万円

元気応援給付金給付事業
さつまの逸品振興事業費
大学生等応援給付金給付事業費

県の緊急経済対策等

415万円

介護保険対策事務費

介護施設への感染防止のための装置設置に係る経費。

感染症対策教育支援事業費

修学旅行で使用する貸切バス内での感染リスク軽減のためバス増便に係る経費。

国の緊急経済対策等

709万円

学校管理費

GIGAスクール構想の実現に向けた通信環境整備に係る経費。

国の緊急経済対策等事業終了に伴う減額

△2,048万円

特別定額給付金給付事業

条例

町議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の制定

町議会議員及び町長の選挙におけるポスター掲示場の設置に関する条例の制定

町税外収入に係る督促手数料及び延滞金徴収条例等の一部改正

町国民健康保険税条例の一部改正

その他の議案

公の施設の指定管理者の指定

指定管理期間を令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間とし、下記の公共施設の指定管理を引き続き指定されました。

健康ふれあいセンター(あびる館)は、公募により指定管理者候補者を選定し、明建設株式会社に決定しました。



健康ふれあいセンター

- 健康ふれあいセンター
- 宮之城ひまわり館
- 老人福祉センターいぬまき荘
- 神子地区コミュニティセンター
- 鶴田地区コミュニティセンター
- 柏原地区集会施設
- 求名交流館
- 永野交流館
- 中津川交流館
- 佐志交流館
- 山崎交流館
- 平川郷
- 宮之城くりん館
- 郷土文化保存伝習館及びふれあい広場
- つるだ特産品販売所
- さつま特産品直売所
- 薩摩農産物加工センター
- 白男川紫陽館
- 尾原活性化センター
- 紫尾森林総合利用施設等
- 宮之城伝統工芸センター
- 永野鉄道記念館
- うましき里きららの楽校
- 鶴田ダム公園及び川内川大鶴ゆうゆう館
- 北薩広域公園

新鶴田小学校校舎新築等工事 始まる

鶴田小学校と流水小学校の再編に伴い、新しい校舎の新築工事請負契約が締結されました。12月17日(木)に建築場所である鶴田中学校跡地で、新鶴田小学校起工式が行われ、町長、教育長、議長その他関係者が参列し安全祈願しました。今後は令和4年4月開校に向けて工事が進められます。

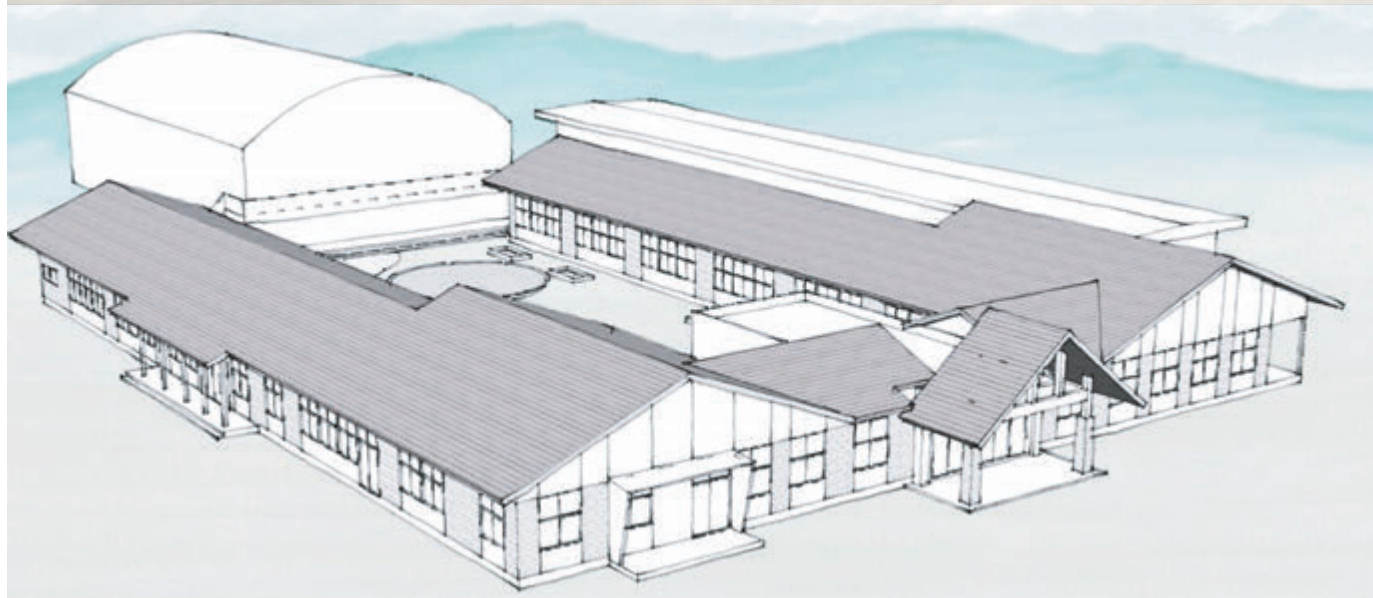


契約金額 4億6,310万円

施工業者 末廣・村田・薩摩工務店特定建設工事共同企業体

契約期間 令和2年11月30日から令和3年11月30日

写真：現在の鶴田中学校跡地



新鶴田小学校イメージ図

教育用タブレット端末整備物品売買契約を締結

GIGAスクール構想の取組に伴い、町内全小学校1038台、中学校516台を整備し、令和3年度から授業等で活用していくものです。

ギガ
《GIGAスクール構想》

児童生徒に一人1台の学習用パソコンと高速ネットワーク環境などを整備する計画

《GIGAとは》

全ての人が国際舞台と革新的創造の扉を開けることのできる学校にしていこう、という意味



町内全学校へ整備されるタブレット（カタログから抜粋）

委員会付託された議案11件

- 【原案可決】条例の制定（2件）、条例の一部改正（2件）
- 【原案可決】令和2年度一般会計補正予算（第11号）関係分
- 【原案可決】令和2年度特別会計補正予算（3件）
- 【可決】指定管理者の指定（3件）

常任委員会審査

総務厚生

委員会審査の中で出された質疑、意見などの主な事項を掲載しています。



町議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の制定

選挙の結果、供託金の没収点以下の得票の場合、選挙公営の取扱いはどうなるのか。【岩元】

答 公費負担の請求ができないため、すべて自己負担となる。

町議会議員及び町長の選挙におけるポスター掲示場の設置に関する条例の制定

ポスター掲示場設置場所等の、町民への周知方法は。【米丸】

答 区公民館長連絡協議会、町お知らせ版、選挙広報しろばら等で周知していく。

国民健康保険税条例の一部改正

今回の改正で町民への影響は。【柏木】

答 給与及び年金所得者の影響はなく、その他の所得者は軽減対象者が若干増える。

一般会計補正予算（第11号）関係分

児童発達支援センター運営負担金の今後の見込みは。【田野】

答 本町唯一の支援センターであるが、町直営で実施となると経費もかかることから、毎年の決算状況等も確認しながら、当分の間はある程度の支援を継続していく必要がある。



児童発達支援センター「クオラバンビーノ」
（令和2年7月轟町へ移転）

台湾で開催される県内の特産品や観光情報を発信する「鹿児島フェア」への出品は。【新改(幸)】

答 いも飴、薩摩西郷梅、梅ジュース及び香辛料（ひらめき）が特産品として選定された。



鹿児島フェアの様子(台湾)

湯田地区にある町有地の擁壁改修工事の内容は。【上久保】

答 町内企業に貸し付けている町有地の擁壁が老朽化により倒壊のおそれもあるため、石積みからブロック積みへ改修し、フェンスを設置する計画である。

特別定額給付金給付事業の未申請者数は。【上久保】

答 未申請者5人、辞退者8人。町元気応援給付金事業では、未申請者10人、辞退者29人となっている。

養護老人ホームへの措置者数の動向は。【川口】

答 ほのぼの苑は、定員70人に対し、本町の入所者数は62人となっている。待機登録者も37人と多く、今後も増加していくと思われる。



養護老人ホーム「ほのぼの苑」(湯田)

委員会付託された議案23件

【可決】指定管理者の指定(22件)

【原案可決】令和2年度一般会計補正予算(第11号)関係分

求名交流館の指定
管理者の指定

老朽化等により解体
する場合の費用負担
は。【上園】

答 現在、解体費用の
助成はないが、各地区
から要望があった場合
は、町が負担するべき
と考えており、所管課
で補助要綱を整理する
よう検討している。

文教経済

委員会審査の中で出された質疑、意見など
の主な事項を掲載しています。



コロナ対策を行い販売(つるだ特産品販売所)

つるだ特産品販売
所の指定管理者の
指定

町内各物産館の新型
コロナ対策の費用負
担は。【宮之脇】

答 町が負担するべき
ものと考えており、消
毒液やフェイスシール
など必要な経費等は
担当課に連絡するよう
周知している。



川内川大鶴ゆうゆう館

鶴田ダム公園及び
さつま町川内川大
鶴ゆうゆう館の指
定管理者の指定

数年前に経理につい
て指摘していたが、
その後の状況は。

【岸良】

答 これまでは実績の
算出方法が年度によっ
て異なっていたため、
指摘後は毎月税理士が
経理の確認や指導を行
っている。

一般会計補正予算
(第11号)関係分

さつまの逸品振興事
業の成果は。【舟倉】

答 新型コロナで帰省
できない県外の大学生
に牛肉を贈り喜んで
もらったこと、モニター
登録者にふるさと返礼
品の特産品等を抽選で
贈る中でアンケートに
答えてもらい返礼品を
充実させたこと、寄附
の受入れを行うインタ
ーネットの窓口を増や
したことで寄附が増加
してきている。

6月末から7月上旬
の豪雨災害に係る災
害復旧工事の内容は。
【三浦】

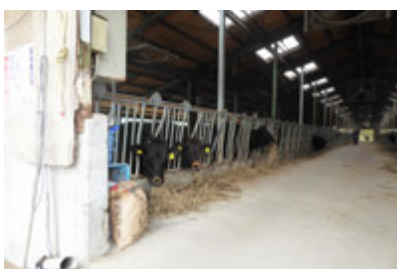
答 農地と農業用施設
163件の災害査定が
11月27日で終了した。
工事発注を年明けの予
定とし、令和3年5月
末を完成目標としてい
る。



牛白血病の抗体検査
は年々増加傾向にあ
るが今後の対策は。

【森山】

答 平成28年度から検
査手数料補助を行って
いるが、獣医師不足に
より全頭検査ができ
ていない。今後は、基
金の活用や行政とJAで
連携をとり、簡易牛舎
の補助事業を活用して
陽性牛と陰性牛を分け
た飼育管理等を行って
いく。獣医師不足につ
いては、全頭検査がで
きる体制づくりを県や
国に要望していきたい。



全頭検査を実施し、分飼している牛舎(湯田地区)

企業立地促進助成金
の補助率は県内の他
自治体と比較してど
うか。【宮之脇】

答 用地費と造成費の
40%と、建物や機械等
の設備費は投資金額に
よって補助率は変わる
が、投資金額5000
万円までの15%は高
い方である。しかし、県
内で突出して高いとい
うことではない。

一般質問

一般質問関係の記事は、各議員から提出された原稿を基に、質問議員の責任において掲載しています。



岸良 光廣 議員

行政改革

消防団員の必要性は

町長／消防団の役割は重要

問

消防団員の身分補償について、報酬が県内の平均を下回っているのを見直し、消防団の運営費がひっ迫しているのでも行政の補助が必要ではないか。また、消防団員の保険の補償内容を再度明確にしてきめ細やかな説明が重要ではないか。

答

消防団員の役割はますます重要になってきている。団員の報酬や消防団の運営費、団員の保険の補償内容などについても今後必要な見直しを適切に行っていくたい。消防団が活動しやすい環境づくりに努める。

住宅用地情報は適正か

町長／説明不足もあった

問

町と開発公社が販売する住宅用地情報を購入者へ適切に伝えているか。

答

初期の問合せから区画の決定に至るまでは、ほぼ購入者と建築会社で打合せされており、住宅用地の売買契約の時点で購入者と会う状況である。



地域を守る消防団(平成31年出初式の様子)

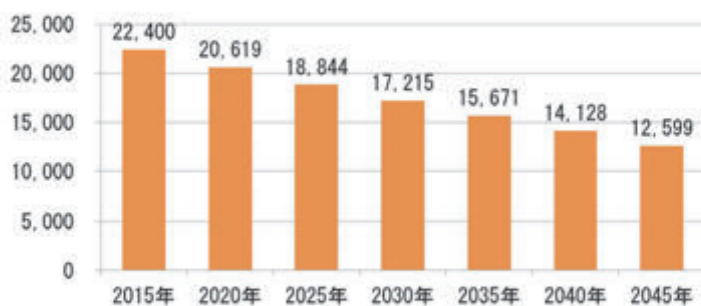
町の人口減少対策は町長／強い危機感がある

問

2045年1万5000人をキープすると説明されてきたが、現状を見ると10年後本町の人口は1万5000人前後となる。今後の役場職員数または関係団体等の職員数などの計画を見直す必要があるのではないか。

答

確かに本町の人口減には危機感をもっている。一年間400人から500人の減になっており来年3月までに今後の計画の見直しを行いたい。令和2年12月1日推計人口2万173名、日本人1万9760名、外国人413名である。



さつま町の将来推計人口(出典：国立社会保障・人口問題研究所)



上圀 一行 議員

子育て支援

少子化対策は

町長／宿泊型事業の充実

問 子ども支援課を設置して少子化対策に努めてきたが、令和元年の出生は130人である。今後の出生者数を増やすために具体的な施策を問う。

答

私の3期目のマニフェスト一番目に、未来を担う子どもたちを産み育てやすい環境の町を掲げ、子ども支援課の設置を始め多くの事業を進めている。令和2年11月末現在、88名の出生となり厳しい状況である。今後は宿泊型の産後ケア事業の充実と子ども館設置の検討をする。

◆要請◆

赤ちゃんを産み育てるお母さんに出生祝金として、例えば第一子に50万円、第二子に75万円、第三子以降100万円といった褒賞制度の一考を要請する。



乳幼児健診の様子

問

町内の事業者が求人募集をしているが応募者がなく、外国人就労者に頼らざるを得ない状況である。町としてどのような対策を考えるか。

答

現在町内では、約400人の技能

外国人就労

外国人就労者の対策は

町長／受入れ窓口には支援する



産後ケア事業でのベビーマッサージ
(宮之城出張助産所)

実習生が居住している。これまで住みやすい環境づくりとしてそれぞれ母国語で書いたゴミ出し用パンフレットの作成等多くの対策をとってきた。町内に管理団体等ができ、窓口となれば町として支援も考えられる。

◆検討を要請◆

企業、介護施設の事業者は人材確保に苦慮している。役場に窓口を置き受入れの相談等進められないか、受入方法や環境整備が必要で、外国人就労者も日本人と変わらず国の交付税措置もある。また、

商店街も利用してもらって経済効果も大きいと考える。12月3日の南日本新聞掲載の記事で鹿児島県内で2030年には10万人の人手不足が見込まれる。役場内に相談窓口を設置することを検討された。



町が配布したベトナム語のごみ分別表で確認する外国人就労者

企業誘致

企業誘致の成果は

町長／今後も企業誘致に努める



田野 光彦 議員

転や規模拡張が14社、立地協定の件数では31件である。
課題としては、高速通信網の未整備があるが、令和4年4月には共用開始される予定である。

問

人口減少の中、町の活性化のためには企業誘致が必要である。町長は、就任当初から企業訪問を行うなど企業誘致に力を入れて来られたが、これまでの企業誘致活動における成果とその課題をどのように捉えているか。

答

町の活性化には不可欠と思ひ、積極的に取り組んできた。成果として12年間で新規5社、町内企業の移

さらなる有害鳥獣対策は

町長／通年捕獲に努める

鳥獣対策

問

有害鳥獣対策は何回も取り上げられているが、各地区からの被害と捕獲対策への要望が依然として強い。被害の状況と捕獲の実態はどのようになっているか。
また、捕獲した有害鳥獣の処分の実態はどうか。

答

被害は気候等の変動で変化がある。イノシシやシカによる被害が約8割である。捕獲は令和元年度分でイノシシが1219頭、シカが2397頭でイノシシの捕獲頭数が増加している。イノシシ・シカについては通年での捕獲指示をしている。捕獲後の処分は埋設処理がほとんどである。

問

有害鳥獣対策の一つに防護柵等の設置があるが、実施する農家や各地区に対する補助の状況はどのようになっているか。
また、防護柵等以外にどのような対策を講じていく考えか。

答

電気柵等の設置事業費の3分の1を補助している。また、国の交付金によるワイヤーメッシュ柵等の設置は27地区で整備している。寄せ付けない・侵入を防止する対策を推進しながら、個体数調整(捕獲)に取り組んでいく。



令和2年に立地協定を締結した有限会社谷口商店

防護柵等以外の対策は

町長／個体数調整に努める



捕獲用わなで捕獲したイノシシ



川口 憲男 議員

備品管理

学校備品の管理状況は

教育長／段階を踏まえ処分している



無償譲渡された備品

答 優先的に再編校へ移管し、次にそれ以外の小・中学校へ、その後、役場等の公共施設並びに地元公民館へ無償譲渡するなど処分している。保管については、ある程度1か所に整理をしたい。また、展示等をしていた場所にそのまま保管されている状況である。

問 閉校となった小中学校の備品や寄贈絵画等の管理状況は万全か。前回質問した時は引き続き展示や保管に努め、展示品の定期的な点検や清掃、燻蒸処理など、適切な管理保全に努めるとの答弁であったが、現状は。

跡地に資料館の設置は

教育長／総合的に検討し、判断する



跡地活用が期待される(柊野小学校)

問 閉校した学校跡地を活用し、各校の歴史資料等を管理・展示する資料館や歴史館の設置の考えはないか。

答 跡地活用は、地域の考えや意向を尊重する。一つの場所に一元管理する方法や地域若しくは学校に残すことでの場所を懐かしむ考えもある。町に学校跡地等利用検討委員会もあり、地域の意向を踏まえ情報収集を行い、総合的に検討し判断していくべきと考ええる。



児童虐待防止ポスター

問 児童虐待等が増加傾向にあると思われるが、教育委員会と子ども支援課で共通問題としての取組状況は。

答 各学校と連携して早期発見に努め、子ども支援課との情報共有を随時行い、虐待が疑われる場合、連携し迅速に対応に努めている。関係機関で構成する町要保護児童対策地域協議会において、児童虐待防止に向けた通報、連携体制の更なる強化を図っていく。

児童虐待

いじめや児童虐待への対応は
教育長／協議会で対応

子育て支援

保育士不足と処遇改善は

町長／潜在保育士の確保に
努める



柏木 幸平 議員

今後も潜在保育士の登録に繋げたい。また、保育所等が魅力ある保育園経営をして、保育士から選んでもらえる努力も必要である。

問

さつま地区保育連合会と議会との意見交換会の中で、各園から保育士不足と過酷な労働環境が続いていて、処遇改善を求められていたが、町は、保育現場の状況をどのように捉えているか。

答

保育士不足については、連合会で課題になっている。町も保育士人材バンクを設置したが登録がない。



議会と保育連合会の懇談会

小学校と園の連携は 教育長／緊密な連携を指導する

問

園長から小学校の情報が欲しいがなかなか伝わってこないとの事である。また、放課後児童クラブ支援員との情報交換のため、連絡会も必要とのことである。年間を通じ小学校と各園との連携はどうか。

答

入学前の連絡会や年3回の子どもの発達支援連絡会等を通じて、定期的な情報交換を行っている。今後は、情報交換の機会を増やすなど、より一層、幼稚園、保育所及び児童クラブと緊密に連携を図るよう小学校に指導する。

親子が集える施設は

町長／総合的観点から検討

問

子育て支援センターでは、乳幼児とその母親を対象として事業を実施しているが、活動をする場の施設が一定せず不便である。また、乳幼児が安全に遊べる遊具のある公園が少ないとの意見がある。町の現状と対策はどうか。

答

こども館は、本町に必要な施設と考える。現在、公共施設の総合管理計画の個別計画を策定中で、今後の方向性を検討している。児童遊園地は、老朽化により、遊具の撤去を進めている。乳幼児が遊べる遊具があるのは、轟児童遊園地になる。

行政改革

ペーパーレス化は

町長／段階的な導入

問

第4次町行政改革推進計画では、ペーパーレス化の推進を掲げ、庁舎内の会議資料を電子化することで、紙資源の節約と印刷コストの削減及び業務の効率化を図るとある。今後の推進はどうか。

答

来年度にかけて職員のパソコンの一斉更新の時期となり、一部汎用性の高いノート型パソコンを導入予定である。引き続き先進事例の研修や利用に関する制度設計などを研究し、来年度以降の利用を目指し、段階的な導入を考える。



議会での先進地研修(熊本県あさぎり町)



米丸 文武 議員

森林管理

林地荒廃の現況は

町長／数件確認されている

問 町内の森林も植林して50年を経過し主伐期を迎え、スギやヒノキの皆伐が急速に拡大しており、伐採後の森林管理が大きな

課題となっている。大型機械の導入が進み、林地荒廃が見られるが、現況を把握されているか。

答

本町においても林内に設置された作業道の原因とする崩壊や土砂流出等が数件確認されている。林内に設けられた作業道は特定の者が施業のために利用するものであり、地形や地質を考慮したルート選定や路面水の処理など森林所有者や施業者の責任において対応しなければならぬと考える。



崩壊した林内作業道(永野地区)

伐採後の管理は

町長／災害防止の指導実施

問

林地荒廃や豪雨により土砂崩れが発生し、宅地、耕地及び河川の災害が発生する可能性が高いと指摘されているが、伐採後の管理はどう指導されているか。

答

伐採届があった場合は、伐採業者立会いのもと林務担当

と地域林政アドバイザーにより現地確認し、施業方法や作業道設置についても土砂流出等が発生しないよう指導している。今後も地理的条件に即した作業道線形や水の集中を防ぐ対策など措置を講ずるよう強く指導し地域住民の安全確保に努める。

森林環境譲与税の活用は

町長／管理法に基づき実施

問

平成31年4月に森林環境譲与税が施行され、自治体への譲与が開始されたが、具体的な活用をどのように考えているか。

答

これは間伐や作業道などの森林整備や森林整備を促進す

るための人材育成、担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発に充てなければならぬとされている。本年度は地域林政アドバイザーの雇用や森林経営管理法に基づく森林所有者への経営管理に関する意向調査に充てている。

再造林の進捗状況は

町長／届出の41.6%が計画



再造林された山林(田原地区)

問

循環型森林の管理が大切であり、伐採後の再造林を推進されているが、進捗状況はどうか。

答

森林資源の循環利用や森林の多面的機能をも十分に発揮させるためには、計画的

な森林整備と再造林が必要である。令和元年度のスギ・ヒノキの伐採届出面積のうち41.6%の再造林が計画されている。今後も県森林組合、林業事業体など関係機関と連携して再造林を推進する。

令和元年度の決算を認定

適正に計画的かつ効率的に執行されたか！ 町民にとっての事業・行政効果は！

さつま町歳入歳出決算（一般会計、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険事業特別会計、農業集落排水事業特別会計）

さつま町上水道事業会計決算

第3回定例会の最終日（9月25日）に審査が付託された決算特別委員会では、8人の委員で構成され、委員長に新改幸一議員、副委員長に舟倉武則議員が選任されました。

審査は9月29日から10月2日までの日程で、さつま町歳入歳出決算及び上水道事業会計決算について慎重に審査を行い、12月7日の本会議において決算特別委員長の報告のとおり、いずれも認定しました。審査の内容を一部掲載します。

老人福祉センターは老朽化が進み維持費も増加しているが、今後の方向性は、

答 高齢者がくつろげる場は必要と考えており、事務レベルでの話し合いは進めている。今後は全庁的に全施設の方向性を検討する。

消防団員の欠員補充対策は。

答 令和2年9月現在で定員に対し48名欠員で、処遇の改善及び活動内容の検討を行いながら団員確保に努めている。また、令和4年度予定の定数改正及び分団再編について、慎重に協議を進めている。

学校給食センターの民間への委託時期は。

答 令和4年度を目標としているが、三役調整会議も終わっていないため明確な時期を示すことができない。



約1380食を作る宮之城給食センター



地域を守る消防団（危険予知訓練研修の様子）

今後の有害鳥獣捕獲業務の対策は。

答 捕獲業務に携わる狩猟登録者が減少している。銃猟では、法の規制が厳しいため取得者は非常に少ないが、わな猟は若干増加しており、今後は講習会を開催したり免許取得の補助も行い、登録者を確保していく。

水道使用料金は県内では平均的か。

答 県内では県本土は安く離島では高い傾向にある。本町は県本土と比較すると高い料金である。今後は料金収入の増加もあり見込めないため、早めに次期料金改定を検討していかなければならない。

◆要請◆

ミスがあることで、最終的には町民に迷惑がかかることを念頭におき、職員の資質向上を図るよう要請する。

薩摩中央高等学校の振興対策は。

答 県外の先進地研修で学んだことを基に、高校生の声を聞きながら根本的に見直しを図り、魅力的な高校になるよう作業を進める。

◆要請◆

町内唯一の高校存続のためにも、研修地の成功例を参考に努力するよう要請する。



【決算特別委員】

新改（幸）、舟倉、上久保、三浦、宮之脇、新改（秀）、米丸、朝倉

債権管理条例と執行停止の要綱の制定は。

町長 条例は担当職員による検討を重ねており、早急に制定するよう要望もある。要綱は執行停止要件など具体例が判るように明示し、どちらも年度内の制定に向けて準備を進める。

実務的な研修を計画的に実施する考えは。

町長 単純ミスが多い状況で実務的な研修を徹底していく必要があり、職員が自覚を持つことも徹底するよう努力していきたい。

選挙公営制度(選挙運動費用の公費負担)の対象が拡大されました

- ◆町議会議員選挙の立候補に供託金15万円が必要となりました。
- ◆選挙運動用自動車を使用した費用、選挙運動用ビラや選挙運動用ポスターの作成費用の一部が国や町の負担となりました。

さつま町長選挙及びさつま町議会議員選挙の日程
選挙期日 4月18日(日) 告示日 4月13日(火)

立候補予定者説明会
【日時】 2月25日(木) 午後1時30分から
【場所】 宮之城ひまわり館 いきいき学習室

詳細につきましては、選挙管理委員会までお問い合わせください。
(電話53-1111 内線2212)

さつまの郷出前講座のお知らせ

さつまの郷出前講座は、生涯学習推進運動の一環として、区公民館・公民会・自主学習グループ・学校等が主催する集会などに、議会事務局職員が講師となって出向き、町議会のしくみや議員活動等について学習し、理解を深めていただくとするものです。

【申し込み方法】

議会事務局に日程を確認の上、実施予定日の20日前までに社会教育課へお申込みください。

【開催場所・時間】

場所は町内とし、会場の手配や準備などは講座申込者で行ってください。

時間は午前9時から午後9時までの間で約1時間程度

【講師料】

講師料は無料です。

詳細につきましては、社会教育課又は議会事務局まで御連絡ください。
(電話53-1111 社会教育課 内線2531・2532、議会事務局 内線2311)



議会傍聴へお越しください

令和3年第1回(3月)定例会は
3月1日開会予定です。

- 日程等は、防災行政無線放送や町ホームページで事前にお知らせいたします。
- 鶴田支所、薩摩支所のロビーに設置してあるテレビやインターネット(YouTube)で、本会議の中継を視聴することができます。



QRコードを読み取るとライブ中継画面のページが表示されます。

議会情報を満載

《さつま町ホームページ》
<http://www.satsuma-net.jp>

トップページの下画面から
議会情報をご覧になれます。

さつま町議会

議会活動



白石誠県議との懇談会が常任委員会ごとに行われました。(11月16日、17日)



さつま地区保育連合会と保育の現状について意見交換を行いました。(11月20日)



町単独研修を観音滝リゾートで行い、(株)やさしいまちと意見交換を行いました。(12月14日)



風力発電計画事業者から、風力発電計画の概要について説明を受けました。(1月22日)



高病原性鳥インフルエンザ発生による消毒作業に協力。



《表紙紹介》

鶴田小学校5年生の書初めの様子。3学期の始業式の日新たな気持ちで集中して取り組んでいました。64号から、「さつま」議会だより」の文字は、(株)昭和書体様より寄贈していただいた書体を用いて、閨龍書体で記載しています。

- ◆11月◆
- 11日(水) 有限会社谷口商店立地協定調印式
 - 14日(土) 求名小学校創立150周年記念式典
 - 20日(金) さつま地区保育連合会との懇談会
- ◆12月◆
- 2日(水) 県市町村総合事務組合議会定例会
 - 14日(月) 町単独議員研修会
 - 17日(木) 新鶴田小学校起工式
 - 27日(日) 始良市市制施行10周年記念式典
- ◆1月◆
- 8日(金) 新年あいさつ回り(町内ほか)
 - 22日(金) 町単独議員研修会
 - 23日(土) 県下一周・地区対抗女子駅伝競走大会
- 川薩地区男女合同結団式 【薩摩川内市】

議長の動静(令和2年11月～3年1月)

※主な会議・行事

編集後記

新年あけましておめでとうございませう。町民の皆様方におかれましては、昨年当初からのコロナウィルス禍の中で新年を迎えなければならず、残念ながらご家族おそろいでの正月ができない方々も多かったのではと察します。また、記念すべき成人式など諸行事が縮小或いは中止となり大変気の毒に思います。有効な医薬品が早く開発され一日も早い終息を願うばかりです。本年四月には、町長選挙と議会議員選挙が行われます。人口減少が進み町の活力が失われなために、若く活発な人材や女性など多くの立候補者があることが望まれます。住民の代表として元氣なさつま町を築くため頑張る人材の立候補を期待しております。

(米丸)

議会広報特別委員会

委員長 上 圍 一 行
副委員長 三 浦 広 幸
委員 米 丸 文 武
委員 朝 倉 満 男

発行/さつま町議会

発行責任者/さつま町議会議長 平八重 光輝

〒895-1803 さつま町宮之城屋地1565番地2 電話 0996-53-1111 FAX 0996-52-0704